



WAVE#94 岩絵具・顔料・雲肌麻紙 35×71cm, 2013

大船真言 展 *Inside one*

Makoto OFUNE solo exhibition

会 期：2014年5月10日（土）－6月8日（日）

開廊時間：12時～19時（最終日は17時まで）

休 廊：月曜日・火曜日

トークイベント：5月24日（土）15時～16時30分

平芳幸浩（京都工芸繊維大学准教授）×大船真言

5月10日（土）17時～19時 オープニングレセプション

ギャラリーあしやシューレでは5月10日より大船真言展「Inside one」を開催致します。

大船真言は1977年に生まれ、2001年に京都教育大学研究科修了後、滋賀県を拠点に制作活動を続けています。

空間を意識したインスタレーションともいえる日本画が、国内外の多くの場で評価を得、昨年は京都・上賀茂神社細殿での展示やスイス・アートバーゼルへの出展など、ギャラリーの枠組みを越えた意欲的な発表を行っています。

伝統的な日本画材である岩絵具や隕石などを使って制作される作品は、一つの平面作品としての存在にとどまることなく、展示空間全体から表出される風景となって、鑑賞者の身体感覚に訴えかけます。

宇宙空間を彷徨うかと思えば、透き通る深海の底に引きずり込まれ、見るものは作品に対峙しながら、かつて見たこともない美しい光景の臨場感に包まれます。

一つの作品でありながら、描き込まれた画面には森羅万象が反映されています。内なるイメージが重なり合い、生命や精神、哲学が縦横無尽につながり、その共鳴が宇宙を作っているという感覚に導かれます。

兵庫県で初の個展となる本展では、ギャラリー空間全体によって作り上げられた広大な世界が、静かに鑑賞者を迎え入れてくれることでしょう。新たな展開となる作品群に、是非ともご期待ください。

Inside one

あらゆる存在は、私たちの意識を超えてつながりあっている。

「one」とは、限定の意味と、一致や一体となる意味を含んでいる。それは最も小さな単位でありながら、全ての部分の集合体としての最も大きな単位を指し示す。

私は、鉱物の顔料を用いて一つの画面を生み出す。その存在は極小単位の粒子の共鳴により支えられる。

画面と向き合うなかで、一粒の物質に秘められた記憶に触れるとき、私はすでに大きな何かの中にいると気付かされる。

目に映る一つ一つの存在が関係し合いながら環境となり、自分もその中の一部だと感じるとき、捉えきれない世界とつながり、内なる感覚はどこまでも広がっていく。

私は、作品を対象として切り離すのではなく、作品と場、人とが、“相互浸透 (interpenetration)” しあうことで、認識を超えた豊かな繋がり合いを産み出そうとしている。

大船真言

作家略歴

- 1977 大阪府生まれ
- 2000 京都教育大学特修美術科日本画専攻卒業
- 2001 同大学研究科修了

個展

- 2013 VOID (上賀茂神社 / 細殿、京都)
大船 真言展 (豆光別邸、滋賀)
Subconscious (TRAUMARIS | SPACE、東京)
- 2012 Voyage Intérieur (gallery サラ、滋賀)
巡り-2012 (ギャラリー正観堂、京都)
- 2011 COLORS OF SEASONS -第26回国民文化祭- (京都芸術センター北ギャラリー、京都)
- 2010 WAVE (neutron tokyo、東京)
- 2009 Principle (neutron、京都)
Prism (neutron tokyo、東京)
- 2008 彼方の風 (天籟宮、滋賀)
どこでもない場所 (アーツスペース感、京都)
- 2007 time-moment-time (neutron、京都)
- 2006 大船 真言展 (neutron、京都)
大船 真言展 (画廊編、大阪)
- 2005 FROM ZERO TO ZERO (アーツスペース感、京都)
大船 真言展 (永井画廊、東京)
La mer du coeur (galerie Akie Arichi、パリ)
- 2004 宙心 (ぎやらりーかのこ、大阪)
SHINKAI-eternal- (ギャラリーGAN、東京)
SHINKAI-eternal- (neutron、京都)
- 2003 心水 (ギャラリーGAN、東京)
心水 (neutron、京都)
- 2002 形なきカタチ (space alternative gallery、京都)
sanzui (同時代ギャラリー、京都)
- 2001 大船 真言展 (space alternative gallery、京都)

グループ展等

- 2014 続・物からモノへ -うつし と うつわ- (遊狐草舎、京都)
2013 Paintings (ギャラリー小柳、東京)
Chaosmos (遊狐草舎、京都)
Art Basel (Messe Basel、バーゼル)
pink noise (GALLERY CAPTION、岐阜)
2012 ニュイ・ブランシュ KYOTO 2012 (アンスティチュ・フランセ関西、京都)
BIWAKO ビエンナーレ 2012 (村雲御所 瑞龍寺門跡、滋賀)
うたかた (アートラボあいち、愛知)
うつせみ (常懐荘、愛知)
Summer Show (ギャラリー小柳、東京)
隠喩としての宇宙 (ホテル アンテルーム 京都、京都)
建築と無常 -Architecture et Impermanence (関西日仏学館、京都)
2011 物気色11・11 (遊狐草舎、京都)
Shuffle | シャッフル展 (白金アートコンプレックス、東京)
Repères (Espace Topographie de l'art、パリ)
2010 物気色-MONOKEIRO(虚白院、京都)
BIWAKOビエンナーレ2010玉手箱-Magical World- (尾賀商店、滋賀)
アートフェア東京 (東京国際フォーラム、東京)
物からモノへ (京都大学総合博物館、京都)
2009 1 Puissance infini (Espace Topographie de l'art、パリ)
2008 point ephemere (Bunkamura Gallery、東京)
2007 BIWAKO ビエンナーレ 2007 (西勝酒蔵搾り蔵、滋賀)
ART RAINBOW PROJECT (ロストック市美術館、ロストック・ドイツ)
2006 Art Court Frontier 2006 (ARTCOURT Gallery、大阪)
うごめくこころ (ボードレス・アート・ミュージアム NO-MA、滋賀)
2004 gallerism 2004 (大阪府立現代美術センター、大阪)
Art Paris (carrousel du Louvre、パリ)
2003 月和水流 - 三つの共鳴する時間 - (ギャラリーBAU、富山)

パブリックコレクション

ザ・リッツ・カールトン京都
パークアクシスプレミア日本橋室町
セントレジス大阪

お知らせ: トークイベントの日時が表記のように変更となりました。